



heartful

# ハートフル通信

## 第3号 2022年3月

### ハートフル訪問看護ステーション

#### 新入スタッフのご紹介

中目黒 作業療法士  
長谷川 麻紀子

初めまして！長谷川麻紀子です。

私はこれまで精神科病院、精神科デイケア、重度認知症デイケアなどで働いてきました。

退院後の患者様を地域でサポートする仕事に就いてみたいと考え、2022年1月にハートフルに入社しました。

病院勤務が長く、初めての訪問分野の仕事に毎日ドキドキしつつも新鮮な気持ちで取り組んでいます。

家では2児の母として日々子供達に振り回される毎日です。

美味しいものとお酒が大好き！なのでコロナ禍では家でお酒に合う料理を研究中です。

まだまだ自転車や地理にも慣れず、体力的にはちょっとしんどいなあと思うこともありますが、温かく指導してくださる先輩方に支えられています。

早く一人前になれるよう一生懸命頑張ります。

皆様どうぞよろしく願いいたします。

写真



# なぜ、精神科訪問看護で働くのか

精神科特化のメリットは精神科の経験豊富な看護師や作業療法士が多いこと、精神疾患をもつ利用者宅へ訪問できる機会が多いことだと思います。

急性期病院で勤務していた際、精神疾患を既往にもつ患者さんが妄想や幻覚を訴えた場合にどう対応するべきか、精神疾患のある患者さんには特別な関わり方が必要なのかと悩むことがありました。同僚に精神科経験者がいなかったので相談もできず、悶々としながら患者さんの看護をしていた記憶があります。

単独訪問や先輩との複数訪問を重ねる中で、これまで精神疾患の症状ばかりに注目していましたが、症状だけでなく利用者自身を看ることの大切さに気づくことができました。

病気とともに生きる一人の人間である利用者さんの価値観を理解したいと思うようになり、訪問が楽しくなりました。

精神科の看護を学びたいと目的が明確であれば、より環境が整った精神科に特化した当ステーションが良い選択だと考えています。



吉野さん

写真

中目黒 看護師 吉野 晶子

# 中高年の作業療法士ができること

私が作業療法士になったのは30歳になろうかというところで、精神科に関わりたかったからでした。

学生の時に学んで今も大事にしている考え方が「自己の治療的活用」というものです。

教員がとても平たく言ってくれたのが「患者さんを良くするためなら何にでもなれ」ということでした。支援者がいつも指導者でなくてはならないわけではなく、ともに悩みを抱えながら生きている同志であってもよいし、目上の人に教えられる若者であってもいいともいます。

以前勤めていた精神科病院の作業療法として調理実習やバレーの試合をすることが多々ありましたが、患者さんに「生田さん大丈夫？危なっかしいから私がやってあげる」などと言わせたらしめたものでした。

自発的に他者に働きかけたり、感謝され賞賛されたりする機会を一気に得てもらえるからです。

本当に家事や運動は苦手なので演技ではありませんが、それさえも役に立たせるということが自己の治療的活用だと思います。

もちろん治療や作業の技術に磨きをかけていく必要はありますが。

今後は、加齢による低力低下や記憶力低下を武器に変えてどんなふうに利用者さんの力を引き出すことができるのか楽しみに思っています。



生田さん

写真

# お知らせ

左：フェイスブック、  
右：インスタグラム  
のお知らせ →



## 祝！！ 入籍おめでとうございます

弊社スタッフが1月11日に入籍しました。

※この日は天赦日で一粒万倍日と縁起の良い日でした

おめでとうございます！！

もう一緒に暮らしていて、来月は新居に引っ越しのご予定です。

食事は奥様（スタッフ）が作って、食事後はご主人が皿を洗って、奥様が洗濯を干したら、ご主人が取り込みすると家事を分担されているそうです。仲が良くて羨ましいです。



近所のスーパーへの買い物も一緒に行かれるそうです。

自分の新婚時代を思い出しました・・・どうぞ、お幸せに・・・

## ☆ ☆ G I F T ☆ ☆



ちょっと遅れましたが、2月14日はバレンタインデー男女問わず女子からのValentine's Day ギフトでした！日々の疲れを甘い物で癒してほしいです！

Happy Valentine's Day

認知症・精神科専門

### ハートフル訪問看護ステーション

中目黒 目黒区上目黒2丁目15-6 川鍋ビル4階  
都立大 目黒区自由が丘1-19-21

TEL 03-6412-8830

サービス提供エリア:

区内全域：目黒区

一部地域：世田谷区、品川区、港区、大田区

次回ハートフル通信は、2022年5月発行予定です

発行人：ハートフル訪問看護ステーション広報委員会